

2018年度 愛媛大学国際協力論 【第1クォーター】

1. イントロダクション
2. 開発援助の定義：OECD/DACの定義と日本の「大綱」
3. 開発援助のプロセス、役割、アクター、場
4. 現在の日本の援助機関の組織構造とその歴史的変遷
5. 日本以外の二国間ドナーの実例と類型
6. 多国間ドナーの実例と類型
7. 非政府系ドナーの実例と類型
8. 国際レジームレベルにおける規範①：開発目標、アンタイド化
9. 国際レジームレベルにおける規範②：援助効果理論
10. 実務レベルにおける規範①：プロジェクト型援助とプログラム型援助、プロジェクト型援助のログフレーム・アプローチに基づく管理
11. 実務レベルにおける規範②：プロジェクトごとのインパクト推定方法の説明
12. プロジェクトごとのインパクト分析の紹介①道路補修、起業支援、職業訓練
13. プロジェクトごとのインパクト分析の紹介②就学支援、性感染症予防
14. 開発援助のマクロ経済的効果：検証方法の説明、既存研究の紹介、援助効果化の取り組み実態とその原因
15. 開発援助配分先と配分量の政治的起源とその外交的効果の検証、新しい開発援助の紹介（地方自治体による開発援助とBOPビジネス）